

福井火力発電所三国1号機の運転再開について

平成26年5月19日
北陸電力株式会社

当社は、福井火力発電所三国1号機（定格出力25万kW）において、煙突より降下したとみられる小さな固形物を発見したため、運転を停止し煙突内の点検を行うこととしました。また、第6給水加熱器^(※1)についても内部の不具合を確認したことから、点検・補修作業を行うこととしました。（4月23日お知らせ済み）

このたび、煙突内の点検および第6給水加熱器の点検・補修作業が完了し、本日（5月19日）5時57分より発電を再開し、確認試験を行った結果、異常がないことを確認いたしました。

点検結果については、次の通りです。

1. 煙突内の点検

煙突内面のライニング材^(※2)が劣化し剥離したものと判明したため、劣化した部分について除去清掃を実施しました。

2. 第6給水加熱器の点検・補修

内部の細管からの漏洩を確認したため、対象の細管に閉止栓を取付けました。

当社は、今後も発電所のより一層の安全運転に努めてまいります。

(※1)給水加熱器：ボイラー給水の温度を上げるため、蒸気と熱交換させる装置

(※2)ライニング材：腐食や摩耗防止のため、内面に施工してある材料

以 上